

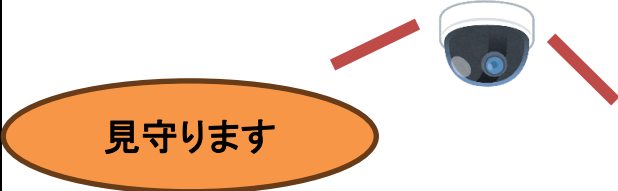







【緑生苑における事故防止、虐待防止の取り組みについて】

2023年7月

項目	施設の対応説明	ご理解とご協力事項について
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">センサー マット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の行動把握のために使用するセンサーマットは、覚醒状況や呼吸状態などを簡易的に計測できる「眠リスクン」を使用しています。 ・行動把握するに離床時の音を鳴る設定にする場合は、1週間～1か月までの期間までとして、利用者様の適切な支援を検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーマットは事故防止の万能グッズではありませんので、完全に事故は防げません。 ・他の利用者様の対応していた場合は、その方を優先し、支援が終了してから駆けつけています。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">インカム & 携帯電話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が転倒をしていた場合や1人では対応が難しい場合に、インカム（携帯電話）を使用して、他の職員へ助けを呼んでいます。 ・広い施設内で情報共有を密にとるため、色々な機器を使って、業務補助の一環としています。 ・利用者様が生活している場所を穏やかに健やかに過ごしていただくにあたって、適切な使用を心掛けてまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の機器の発達は目覚ましいですが、使い慣れるのにも一定の時間がかかるのは事実です。 ・利用者様の支援に支障をきたさないように、あくまで業務補助の機器であるという意識を忘れずに利用者様の支援第一に対応してまいります。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">防犯カメラ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共有部分である廊下やリビングスペースは防犯カメラが設置しています。居室にも誰が立ち入ったか分かるようにカメラの配置しております。 ・カメラの範囲内であれば、さかのぼって確認が出来るため、事故発生時の状況をより細かに分析が出来るようになりました。 ・居室内のカメラは排せつ支援もすることがあることから、常時設置はしていません。台数に限りありますが、センサーマットと同様に1週間から1か月までの期間だけ決めて設置することは可能です。内服薬変更時や認知症等の困難な対応が多い場面などで設置のご提案をしています。 	 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラもセンサーマットと同様に事故防止の万能グッズではありませんので、完全に事故は防げません。 ・施設管理者、相談員、施設ケアマネなどの特定の職種の職員が実際の映像についてお見せすることが可能です。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">面談 研修 &</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内での虐待事件報道などで、介護業界の信頼を揺るがすニュースが出ております。認知症の方の特有の行動(同じことを何度も繰り返す、不意の暴力行為等)で職員が虐待行動に陥りやすい場合の対処法や、職員が手を出してしまった場合の刑事上の責任も含めて共有しています。 ・ほぼ毎月職員と面談をする機会を設定し、悩みやつまづいている部分の確認をしております。 <div style="text-align: center;">    </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に緑生苑も報道が出ておりますが、一連の対応は、不起訴、和解となっております。しかし、それで終結とせず、当時の反省を活かし、緑生苑を利用されるすべての皆様が安心安全な介護を提供できるように邁進してまいります。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">居室内の 情報共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の状態は、加齢や認知症の進行等で日々状態が変わります。 ・状態変化に合わせた支援内容を適宜対応してまいります。交代勤務で短時間の勤務職員等の複数職員が務めており、情報共有の場は多く設けております。 ・居室内に貼りだす情報シートは必要な支援内容を端的に記載されておりますので、随時更新して対応しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人様の支援のための居室に情報共有シートを貼りだします。情報の内容が過度に個人情報を書き込まれないように留意してまいります。 ・契約者様がお読みになられて不適切な表現があった場合は、お申し出いただければと思います。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ハラスメン ト防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的な暴力やセクハラは適切な介護サービス提供が難しくなります。また、精神的なハラスメント行為として、「大声をだす」、「威圧的な態度で接する」、「理不尽な要求を繰り返す」といった内容も含まれます。 ・認知症の方の行動であったり、サービス利用上の苦情などは、一定の考慮はされます。しかし、ハラスメント行為として認められ、サービス提供が困難な場合は、利用を中止する場合があります。 <div style="text-align: center;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスを提供するにあたって、働く職員が安心して働くことが出来る環境作りをする必要があります。これは利用者様や契約者様にもご理解とご協力が必要な内容です。 ・現場職員に直接では対応が分からない時もあるため、お悩みがあれば、相談窓口である生活相談員や施設管理者へお申し出ください。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内出血 不明な怪我</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様のお身体に大きな内出血や怪我があった際は、速やかに原因と対応を確認します。骨折などの重傷であれば保険者である名古屋市にも報告義務が発生します。 ・高齢のお身体であれば、何故出来たか分からない内出血や怪我也出てくる可能性はありますが、誠心誠意考えられる範囲でお示しをします。 ・施設の説明にご納得いただけない場合は、警察の被害届けを提出調整するなど、適宜必要な対応を協議してまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ等、職員からの聞き取りだけではなく、客観的に見える内容もお示しができるようになりました。痛い思いを利用者様がされないように状況を鑑み、事故防止、虐待防止の取り組みを不断に行ってまいります。ご不明な点がございましたら、ご指摘をお願い申し上げます。